

紙でつたえる～3.11の記憶～

気仙沼高校2年

はじめに

- ① 語り部活動
気仙沼市東日本大震災以降伝承館にて学生語り部として活動中
- ② A4の白い紙で3.11を表現してもらう
自分の手を動かすことにより記憶の風化防止につながる&気持ちの整理がつく
- ③ 1年次から探究学習を行なっている

探究目的

- 震災の風化防止のため
- 新たな伝承方式の提案
- 語りにくさの解消



調査方法（1年次）

1対1でヒアリング！

調査結果（1年次）

『結果』

- 55人以上の3.11を集めることに成功
- 新たな伝承方法として有効的である
- 心理セラピーにも使えそう

『課題』

- 圧倒的効率の悪さ
- リアルな声でたくさんの人に発信できない



調査方法（2年次）

オンラインワークショップを開催！

調査結果（2年次）

[オンラインによるメリット]

- 遠い人でもできる
→被災地以外の人参加可能に！
- 自宅から参加できる
→気軽さを追求！



[ワークショップによるメリット]

- 作った後に自分の言葉で説明することができる
- いろんな人の思いを汲み取ることができる

『課題』

- 人集め
→宣伝の仕方に工夫が必要
- 日時の決定
→参加しやすい日時アンケートをとる
- 紙を使うことによるメリットの説明不足
→やってほしい効果(気持ちの整理,※みんな語り部)が期待できない



※語り部から聞いたことを自身が語り部となり、みんなに伝えていくこと

今後の展望

- オフラインワークショップを開催したい
→対面であることのメリット、デメリットを探究したいから
- 子ども(幼稚園生、保育園生)にスポットを当てたワークショップを開催したい
→将来の夢は保育士になることだから

協力

- オンラインワークショップに参加していただいた13名の方々
- NPO法人底上げ N様(サポーター)
- 一般社団法人まるオフィス M様(サポーター)

紙の作品をご覧になりたい方はこちらから
<https://toi-story.com/stories/06/>

